

オンライン・スクールカウンセリング ～北海道における実践と課題～

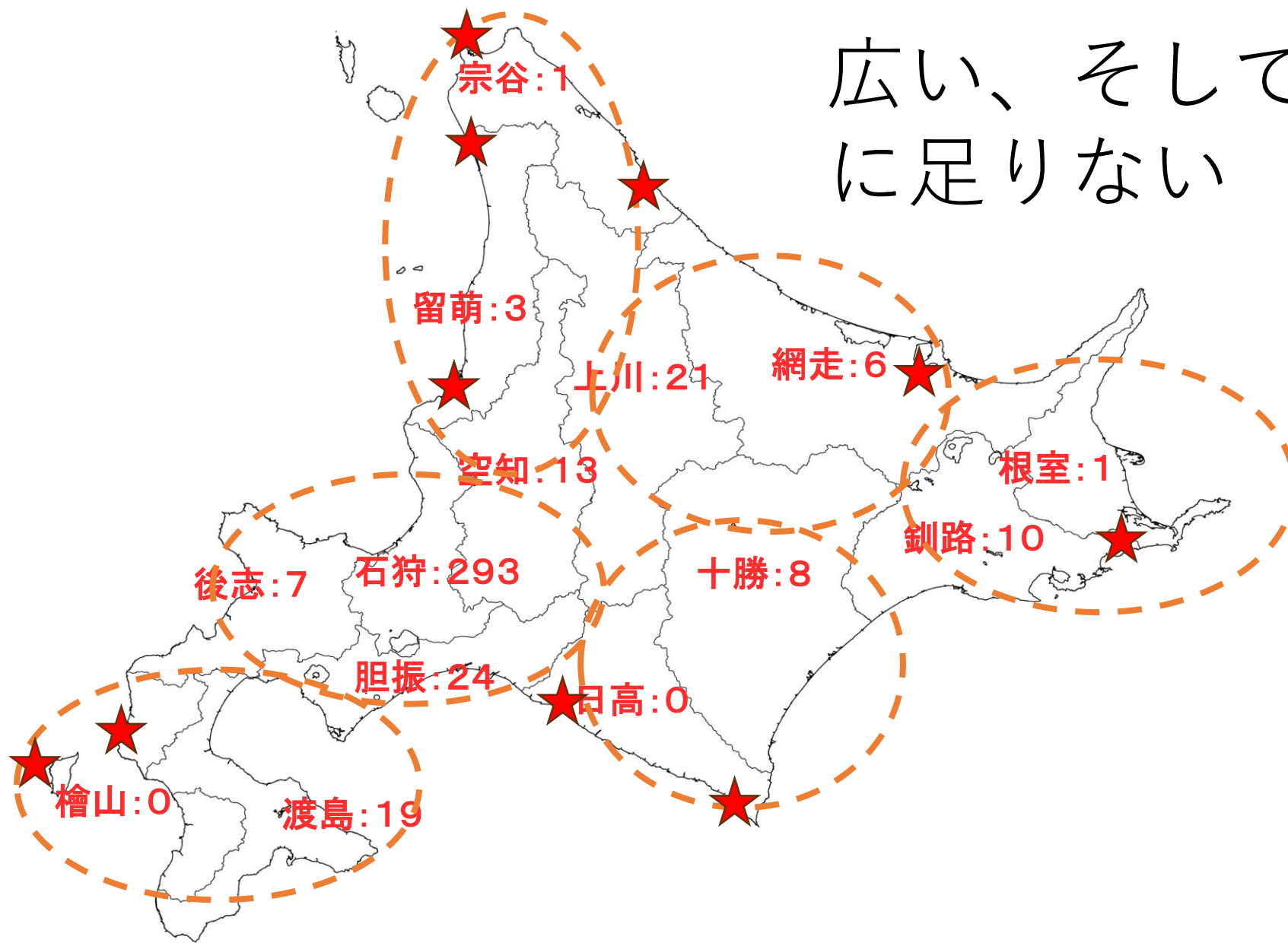
北海道医療大学心理科学部
冨家 直明

東北大学病院心療内科に勤務後、宮城県・仙台市・石巻市でスクールカウンセラーの立ち上げに参加。**灼熱の宮崎大学**から、2006年に**大雪の北海道医療大学**へ。
2009年 文部科学省 G P 大学院教育改革プログラムにより**遠隔カウンセリング**を開始。
2019年 **北海道教育カウンセリングICT活用事業**北海道教育相談スーパーバイザー就任

研究室の窓から



広い、そして圧倒的に足りない



臨床心理士の道内分布と3次医療圏(2010年)

遠隔医療・遠隔カウンセリングの歴史（ざっくり）

1999年	世界医師会	遠隔医療のガイドライン
2003年		P2P技術を利用したスカイプが登場
2007年	総務省	地方再生戦略遠隔医療推進、文科省 大学院GP 遠隔SC実証研究
2009年		米メディケイドの大規模調査 遠隔医療利用者0.1%
2015年		北海道教育カウンセリングICT活用事業 開始
2017年	OECD調査	遠隔医療の実施は0.1%
2018年	厚労省	「 オンライン診察料 」策定も総算定数は 全国65件のみ
2019年	内閣府Society5.0、	Zoom日本法人 設立
2020年2月		電話で処方箋 発行が可能 診療計画なし で遠隔診察可能
2020年3月		新規薬でも 遠隔で処方可能
2020年4月	内閣府が	初診の遠隔医療 解禁、対面と遠隔の診療報酬の同額化を要請
2020年5月	厚労省	遠隔医療 初診の時限的緩和 研修受講の猶予 診療報酬範囲拡大
2021年10月	厚労省	遠隔初診は かかりつけ医を原則 とするが例外も認める
2022年10月	内閣府 厚労省	オンライン初診の 恒久化開始予定
2022年11月	文科省	GIGAスクール構想 （1人1台端末の実現に向けて）
2022年12月	文科省	12年ぶり生徒指導提要改訂 端末活用自殺スクリーニング
2023年6月	厚労省	オンライン診療その他の遠隔医療の推進に向けた基本方針 の策定

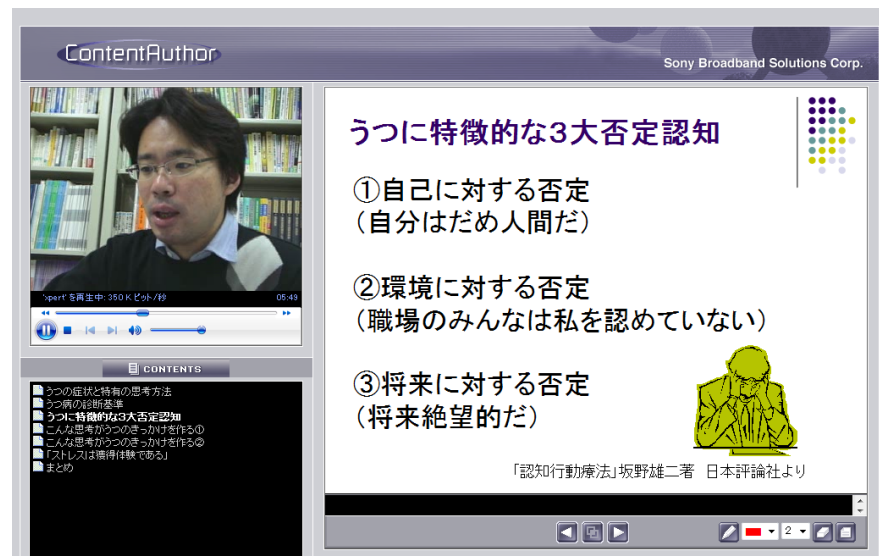
遠隔カウンセリング支援の3つの形態



①テレビ会議システムを利用した学級ベース
集団カウンセリング

(北海道増毛高等学校提供)

②テレビ会議システムを利用した個
別カウンセリング



③イーラーニングコンテンツのオンデマンド
視聴による心理教育



YAMAHA PJP-100UH

オンライン技術の習得は若い人ほど早い



写真左 遠隔ロールプレイングに挑戦中の大学生



写真右 遠隔集団療法を楽しむ高校生

遠隔支援だけでなく、現地に赴いて交流することも大切



++

27 そうやるもい

2010年(平成22年)8月21日(土曜日)

北海道新聞

一緒に汗かき 一生の思い出

【増毛】本年度限りで
ともに閉校する増毛高
(松永務校長、24人)と
愛別高(北田義憲校長、
22人)が20日、増毛高で
合同体育大会を開いた。
閉校交流事業の一環で、
約100名離れた両校の
全校生徒が対面するのは
初めて。増毛高と交流の
ある道医療大(石狩管内
当別町)の学生も参加し、
総勢55人がグラウンドで
親睦を深めた。

本年度で閉校 増毛、愛別高

両校の交流は2月に、
愛別高が同規模校の増毛
高に呼び掛けたのが始ま
り。両校生徒会を中心に
3月以降、計画を練って
きた。

授業で増毛高の心理方
ウンセリングなどを行う
道医療大のゼミ生8人も
参加。混成4チームを編
成し、チーム対抗リレー
や玉入れなど4種目で熱
戦を繰り広げた。盛り上
がりを見せたのは5本の

合同体育大会で交流

綱を自陣に引っ張り合う
「5色綱引き」で、砂ほ
こりが舞うほど競技は白
熱。30名離れた場所から、
生徒が一斉に走りだし、
綱を奪うと力任せに引き
合った。

愛別高3年の松江翼生
徒会長(17)は「みんな明
るくてすぐに打ち解ける
ことができた」と話し、
増毛高3年の櫛引美穂生
徒会長(17)は「大人にな
っても思い出に残る楽し
い体育大会になった」と
顔をほころばせた。

増毛高は閉校事業とし
て、11月に札幌で1泊2
日のOB訪問や地元PR
活動などを行う。交流事
業では12月に愛別高を訪
問する。

(東久保逸夫)

共感と同じ空気を吸わないと難しいのでは？

行政と連携する



が福祉や心理の専門家と連携し課題解決に取り組む体
包括的な連携のための新たな協定書の締結につ

北海道教育委員会

りSC活用事業開始（現状の実績）

SSW活用事業開始（現状の実績）

材の確保が求められている

校現場で協働するための研修機会が求

用し、両活用事業の
祉・心理の両方の
ことで、児童生徒
るSSWとSCとの協
改善に向けての

それぞれの
課題解決に
向けた
協定の締結



北海道

・平成〇〇年度より、S

・平成26年度より、SSW

課題

・SSW・SC人材育成

・社会福祉的手法
育現場において学
な知識・技術を身
専門的な人材の確

- ・実習先として、道教委での受け入れ及び委託市町村
- ・将来の協働に向けた福祉・心理・教育を専攻する学生
- ・SSW・SCの専門的教育を受けた人材の輩出と卒後教

るSSWやSCの専門的知識・技術の向上及び教員を含
りの研修機会の提供

会福祉や臨床心理の専門家による研修用コンテン
の配信

的なSSWやSCの活用促進のための共同

尊上の課題解決に向けたSSWやSCの効果

育カウンセリングICT活用事業の改善・充実

北海道教育カウンセリング I C T 活用事業（概要編）

北海道教育委員会では、「ほっかいどうスクールネット」を活用し（道立学校の他、市町村教育委員会にもIDが4つ付与されています）、ネット上で音声と映像の双方向かつリアルタイムに、心理、福祉等の専門家と学校をつなぎ、児童生徒、保護者及び学校、市町村教育委員会に対する、指導・助言や教育相談等の支援を行います。

ニーズに合わせて活用方法は「様々」

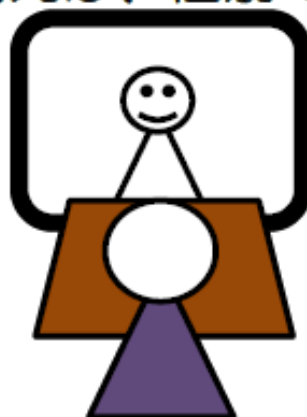
インターネットで



= 心理・福祉の専門家 とつながる！

モニター越しに顔を見て相談

例えば、個別で！



- 児童生徒、保護者の教育相談に活用
- 教職員、教育相談に従事する方、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカー等のコンサルテーションや研修で活用

例えば、複数で！



- 学校や教育委員会のケース会議の指導・助言
- 学校の教職員の研修講師
- 重大事態発生時の初動対応の指導・助言

例えば、集団で！



- 児童生徒向けの集団カウンセリング講師
- 教職員、保護者向け研修会の講師

例えば、学校間連携で！



- 学校間の研究発表や協議での助言
- 学校合同の研修の講師
- 中1 G未然防止・高校ステップアップで活用を想定

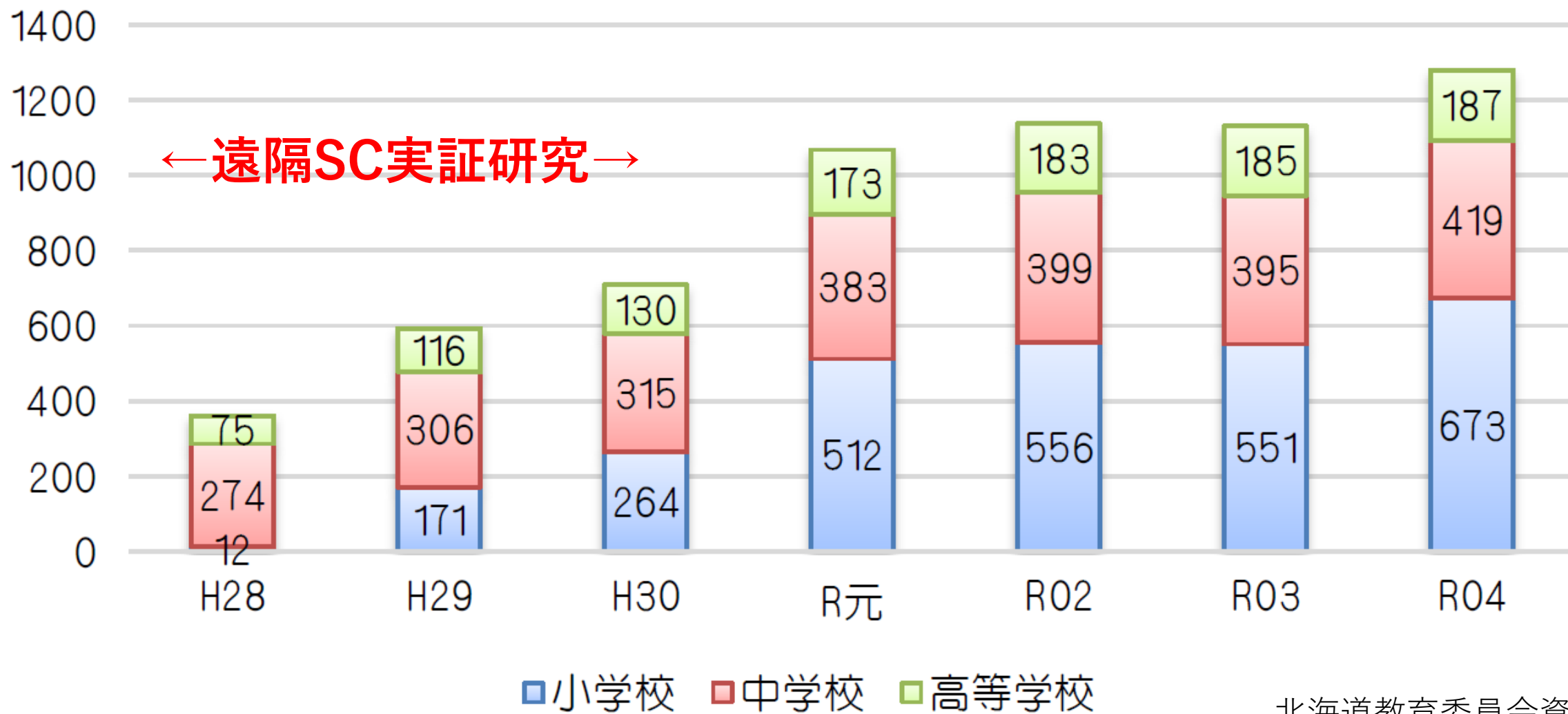
専門家の日程調整、報酬支払いは道教委が実施

いじめ、不登校、児童虐待、暴力行為等の生徒指導上の課題に対応
【心理】児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識及び経験を有する専門家が、カウンセリング等を行います。
【福祉】社会福祉の専門家が、課題解消に向けて、社会保障や地域の専門的な機関の活用方法等をアドバイスします。

研究室から

心理・福祉の専門家による支援（平成27年3月31日現在）
【心理】北海道医療大学 富家先生 北海商科大学 大友先生
北海道教育大学函館校 本田先生
【福祉】北星学園大学 久能先生

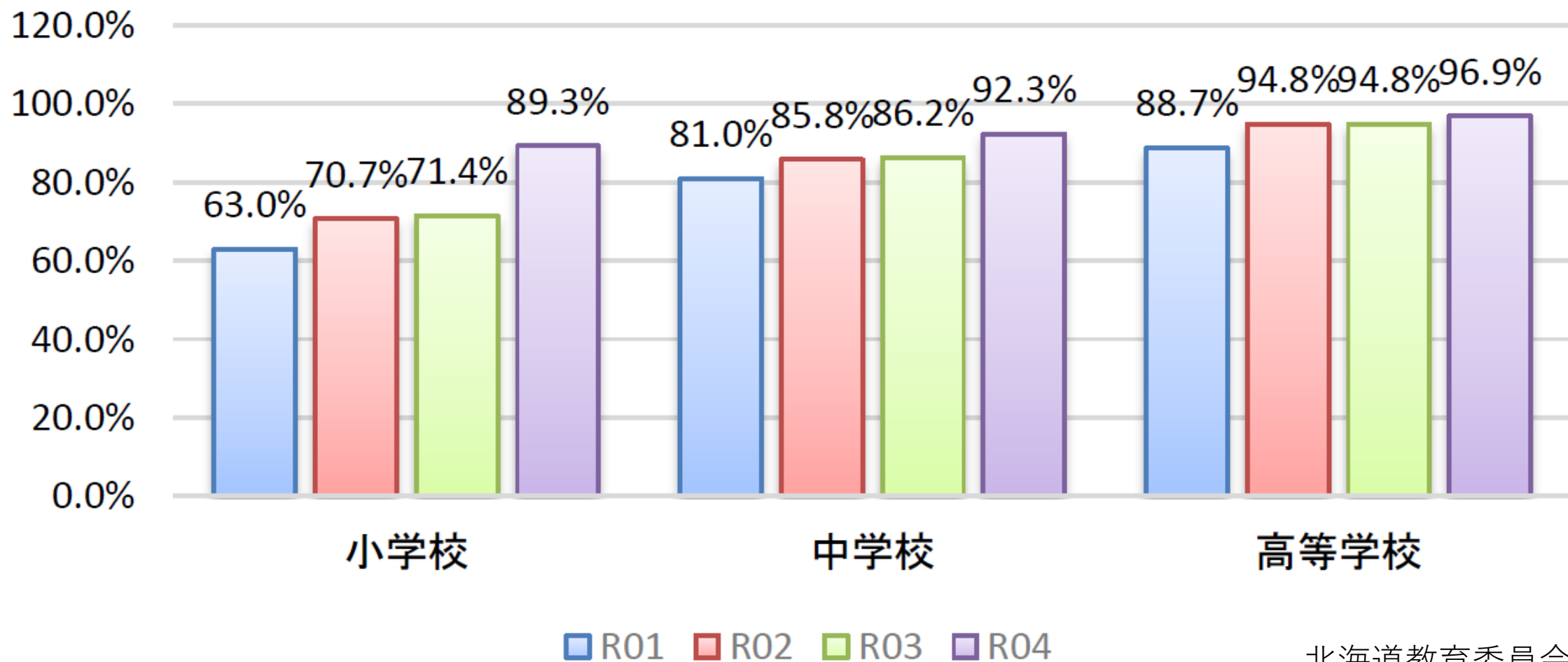
スクールカウンセラー配置校数等推移 (小中高・H28～R04)



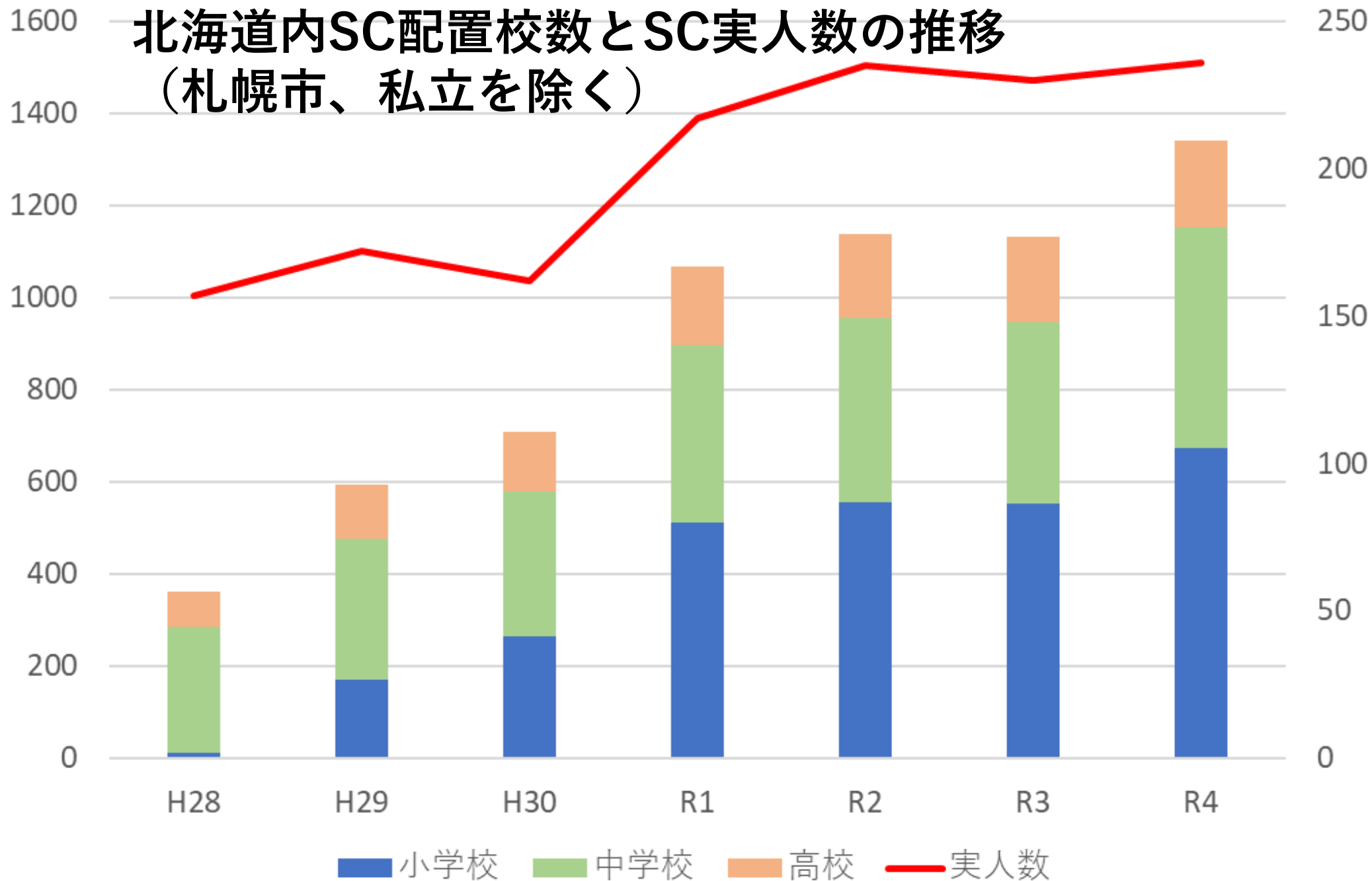
スクールカウンセラー配置率

(小中高・R元～R04)

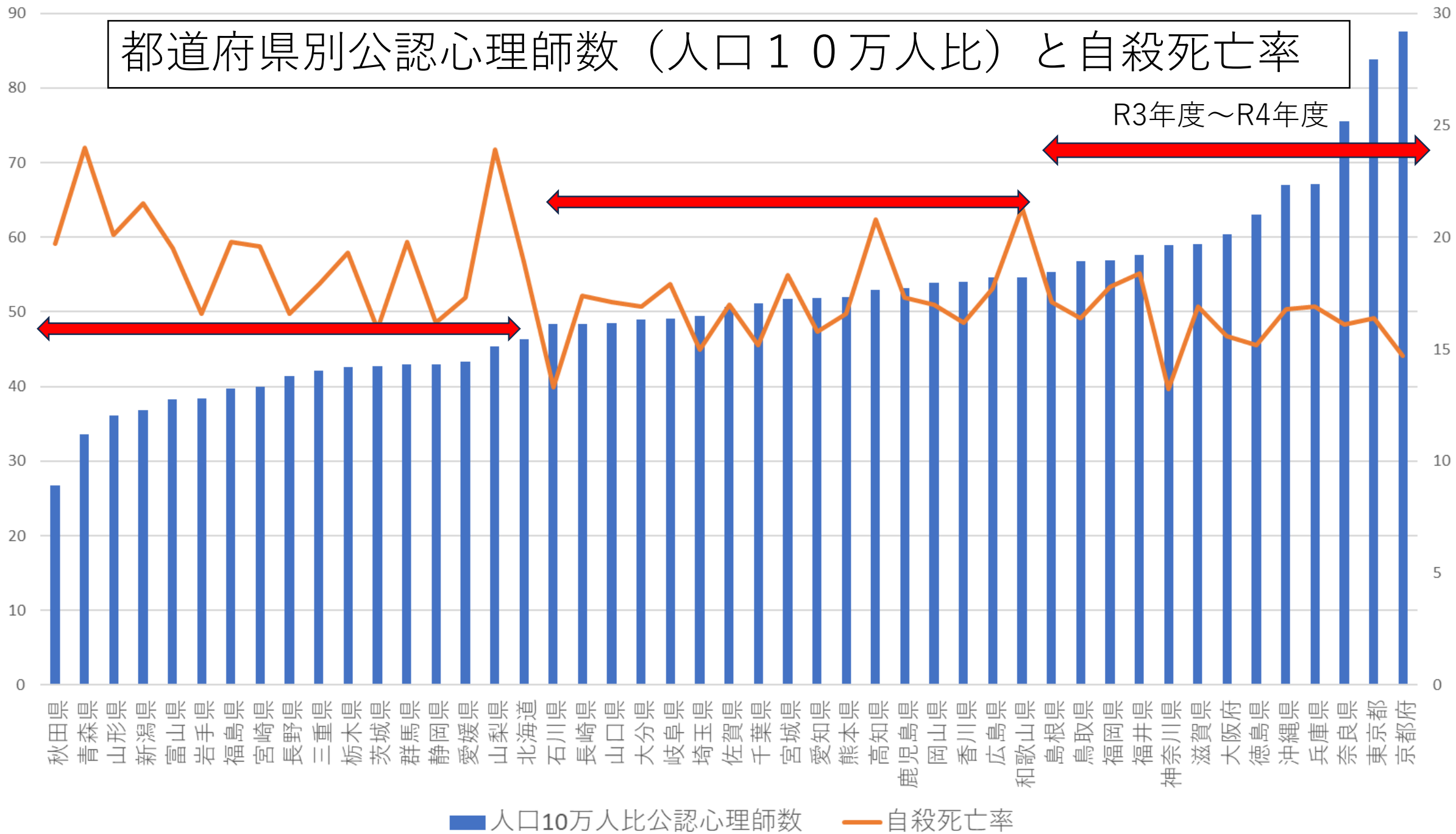
ピンポンダッシュ型多数含む
「週あたりの配当時間」にあらず



北海道内SC配置校数とSC実人数の推移 (札幌市、私立を除く)



都道府県別公認心理師数（人口10万人比）と自殺死亡率

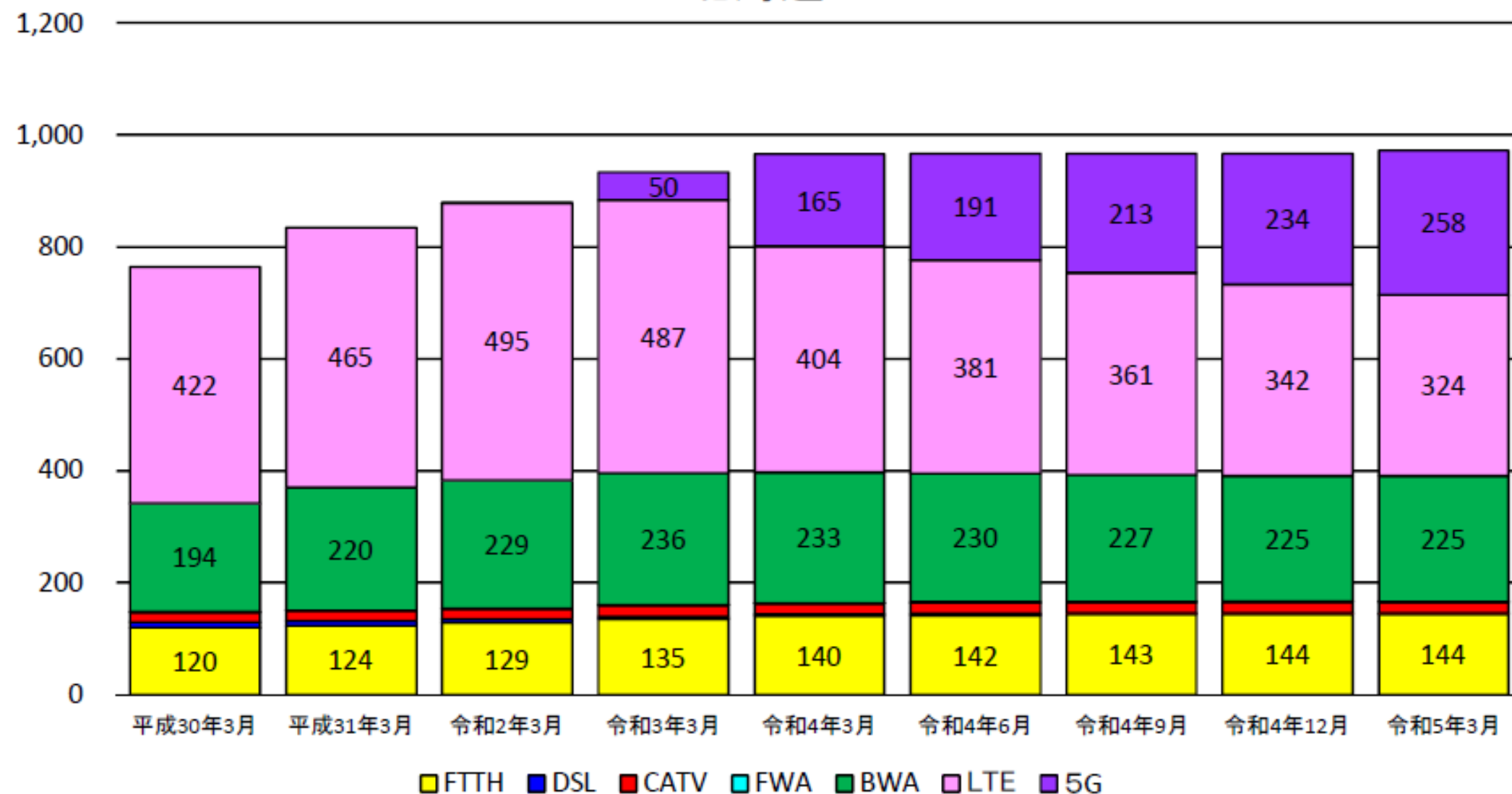


遠隔カウンセリングの発展のために

- ①「北海道教育カウンセリングICT活用事業」はH5年度末で廃止。今後は通常SC事業内に遠隔支援を位置づける。テイクオフ！うまくいくか？？
- ②人材の養成とリテラシーの向上（**専門資格や研修機会の提供が急務**）
技術偏重の教育ではなく、相手の環境や背景、ニーズを理解できる相談者の育成を。土地勘のない地域への遠隔カウンセリングは慎重に。
- ③**遠隔相談者の安全の確保、インフォームド・チョイス、守秘義務のあり方**を整備
- ④地域別の遠隔支援計画の策定
 - ・**急速に環境は変化する**（PDCA・CAPDをこまめに）
 - ・相談体制づくり（**緊急時のバックアップ**、対面相談者や遠隔補助者との連携）など

(単位: 万件)

北海道



総務省 「ブロードバンドサービス契約数の推移（令和5年3月末）」より

